

理科自由研究のてびき・第80回川崎市立小学校科学作品展

令和 8年度

川崎市立中原小学校理科部

みなさんがお待ちかねの夏休みがはじまります。長い夏休みをうまく使って、ふだんできないことをやってみましょう。

ときどき「ふしぎだな」「なぜだろう」「どうしてかな」と思ったことがあるでしょう。この夏休みには、そういうことを調べてみましょう。きっと楽しい発見ができますよ。

令和8年10月17日(土)
中原区会場 川崎市立井田小学校
(夏休み明けに、出品作品を募集します。)



☆自由研究のすすめかた

① テーマを見つけよう！

テーマを見つけられないことには研究は始まりません。テーマを見つけることが大切です。次のようなことを参考にしましょう。

- ・自分の身の回りのできごとの中でふしぎに思ったこと。
- ・本やテレビを見ていて「おもしろいな」と思ったこと。
- ・学校の学習の中でもっとくわしくしらべたいと思ったこと。
- ・どこかにでかけたとき、あたらしく見つけたこと。
- ・ともだちやほかの人から聞いたことで「あれ、へんだな」と思ったこと。

② なにをくわしく調べるかきめる

テーマを見つけたら、その中でもどんなことをくわしく調べるのかを考えましょう。多くのことを調べることもいいですが、1つのことだけをくわしく調べることも大切です。

③ 調べ方を考えて、じゅんじょよく実験や観察をしよう

どのようにじっけんや観察をするのか考えましょう。また、ひとつの観察や実験がおわったら、2つめ3つめ・・・と、じゅんじょよくすすめましょう。終わった実験や観察はすべてノート（野帳）に書いておきましょう。あとでまとめるときに便利です。もし、失敗してもくじけずにやりなおしてみよう。

④ くらべるときはじょうけんをかんがえて！

なにかとなにかをくらべる実験のときは、じょうけんを同じにして、くらべたいものだけをかえてしらべましょう。

⑤ まとめかたの例

研究の題名（くふうしてみましょう）

川崎市立中原小学校
〇年〇組（中原ジーニー）

1. 動機（調べたいと思ったわけ）
2. 課題（何を調べるのか、内容をはっきりさせましょう）
3. 計画（観察・実験方法）
（どんな道具を使って、いつ、どこで、どんなふうに調べるのか、絵や図を使って分かりやすくしましょう）
4. 予想
（観察・実験する前に、自分でどんな結果になるか考えてみる。理由も書きましょう）
5. 観察や実験の結果
（字だけでなく、図や表、グラフ、絵、写真などを使って、結果を正確に分かりやすくあらわしましょう）
6. まとめ
（わかったことや考えたこと、反省、感想など）

※参考資料（参考にした本や図鑑の名前、出版社など）

例

アサガオの育ち、アゲハチョウの育ち、メダカの観察、ゴムのはたらき、風のはたらき、水に浮くもの、川の石の形、太陽の動き、月の観察

種類、形、色、模様、数、長さ、大きさ、広さ、重さ、動き、ちがうところ、にているところ

観察や実験方法、使う道具、観察のときや時間、実験の回数

例

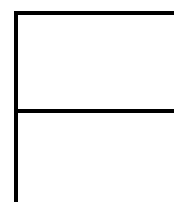
ゴムボールとビニールボールのはずみぐあいを調べる時は、りょうほうとも同じ1メートルの高さからおとして、はずみぐあいをくらべます。

模造紙は、線の入った物をつかうと、文字や表が見やすくかけます。

☆模造紙はたて・よこ向き2枚以内です。

☆野帳（やちょう）を大切にしましょう。野帳とは、観察や実験のけっかをこまかくメモしたノートのことです。作品を出すときに、いっしょに先生に出しましょう。

☆まとめかたがわからないときは、野帳だけでも出して先生に相談しましょう。



模造紙の枚数はたて、もしくは横に
して2枚以内です。